

令和4年度 福生市学校評価書総括表

	学校自己評価総括	改善策	学校関係者評価総括	改善策	総括評価
福生第六小学校	(1)学力の定着と向上 <ul style="list-style-type: none"> 授業改善推進プランの視点を「主体的な学習」「対話的な学習」「深い学習」とし授業改善を推進した 「授業改善推進拠点校」として「学びに向かう力」の育成に必要な手だて生かす学習指導の研究に取り組んだ。 朝学習を『かめタイム』とし週60分の学習時間の確保 改訂版「ふっさっ子スタンダード」の定着を図った。 タブレット型端末を活用した授業展開を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びに向かう力」を育む授業改善に取り組む。 「ふっさっ子スタンダード」を徹底し、授業規律を定着させる。 授業改善推進拠点校として、「学びに向かう力」の育成に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止策を前提とした学校運は、様々な制限を受けた中で行われたが、保護者アンケートの結果「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的な評価はほとんどが90%を超えており、感染防止対策への理解をいただいた上で高く評価されたことは喜ばしいことである。また「子どもが学習を理解しているか」との問いへの回答が昨年度より7ポイント以上向上し90%台となったことは、本校が児童の学力向上のために取り組んできたことの成果と捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びに向かう力」を育成する授業改善の更なる推進 朝学習を『かめタイム』とし週60分の学習時間の確保 ふっさっ子スタンダードの更なる徹底 タブレット型端末を活用した家庭学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 学習規律の徹底と基礎・基本の定着を図るためにも、児童が主体的に学習に取り組む態度を育成する必要があるため授業改善と家庭学習の推進に取り組む。
	(2)よりよい学校生活・学校適応の推進 ①安全・安心な学びづくりとして <ul style="list-style-type: none"> 登下校時の安全対策の推進。かめパト隊による見守り活動の推進 子どもに「危険を予測し回避する能力と、他者の安全に貢献できる資質・能力の育成」を図るための取組 ②子どもたちのよりよい学校適応の推進 <ul style="list-style-type: none"> 挨拶・返事、やさしい言葉遣いの指導 いじめや不登校の予防と解消を図る 特別支援教育の推進（自閉症・情緒特別支援学級や特別支援教室との更なる連携強化） ③子どもの自己有用感を高めるために <ul style="list-style-type: none"> 感染対策を万全に行い、学校行事を実施 居心地のよい学校・学級づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 安全教育、人権教育の更なる推進 保護者、地域との連携による安全見守りの実施 通常学級における特別支援教育の推進を通してノーマライゼーションを推進 教員相互の情報連携を推進し全教職員で児童を育成する風土の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の課題を踏まえると、保護者・地域との連携をより進める必要がある。特に学力については、コミュニティ・スクール委員とも連携し、家庭教育の充実に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全教育と人権教育の取り組みを日常の取り組みとして推進する。 保護者、地域との更なる連携による安全見守り体制の拡充 通常学級における特別支援教育の推進を通し、居心地のよい学校・学級を構築する。 教員同士の情報連携を強化し学校全体で児童を育成する機運の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の安全については、全職員の連携が重要である。報告・連絡・相談体制を徹底し子どもたちの安全を守る取組を推進する。 いじめはどこでも発生する危険性があるからこそ絶対に許さないという意識をより一層強くもち、子どもたちを見守ることが大切である。
	(3)地域や保護者に開かれた学校づくり <ul style="list-style-type: none"> オンラインを活用した学校公開の実施 コミュニティ・スクールとしての地域連携の推進 ホームページの充実による情報発信 動画配信等による情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開、運動会、学習発表会を感染防止対策を講じて実施 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールとして、保護者・地域・学校・関係諸機関の連携を更に進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた教育活動の公開の推進 コミュニティ・スクールの取組の更なる拡充 可能な限りゲストティーチャーを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールとして、保護者・地域・学校・関係諸機関の連携を更に進めていく。
	(4)組織的な学校運営や人材育成の推進 <ul style="list-style-type: none"> 経営会議、企画調整会議、職員会議の適切な運用 校内OJTの推進（OJTグループ毎にテーマを設定した授業改善の取組や講義形式の研修の開催） 研修受講後に研修内容を全教員に紹介する 会議の精選と効率化 	<ul style="list-style-type: none"> 主任教諭が中心となりOJT A・B・Cの計画を推進する。 夏期休業中に受講した研修内容の紹介 会議の精選と効率的な運営 目的意識の共有を図り、一体となった学校運営の推進 校内研修の充実による指導力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 主任教諭を中心としたOJT充実 会議の精選と効率的な運営 目的意識の共有を図り、一体となった学校運営の推進 校内研修の充実による指導力の向上 働き方改革の更なる推進 	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な時間の使い方意識した働き方改革を推進する。 OJTを日常的に意識し、お互いを高め合える教員集団として取り組む。 	

